

アンケート調査結果(前回比較)

付録2

アンケートの実施

	今回	前回
送付社数	2577	2486
回答社数	876	1219
回収率(%)	34.0	49.0

基本情報(企業のプロフィール)

1-1 公開している市場について教えてください。

	今回		前回	
	回答社数	874	回答社数	1217
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 東証1部	485	55.5	645	53.0
(2) 東証2部	173	19.8	240	19.7
(3) 大証1部	15	1.7	16	1.3
(4) 大証2部	90	10.3	134	11.0
(5) 名証1部	6	0.7	9	0.7
(6) 名証2部	28	3.2	46	3.8
(7) 福岡	10	1.1	19	1.6
(8) 札幌	5	0.6	6	0.5
(9) 店頭登録	62	7.1	95	7.8

1-2 設立時期を教えてください。

	今回		前回	
	回答社数	869	回答社数	1218
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 1940年代以前	283	32.6	496	40.7
(2) 1940年代	193	22.2	246	20.2
(3) 1950年代	160	18.4	212	17.4
(4) 1960年代	100	11.5	143	11.7
(5) 1970年代	77	8.9	83	6.8
(6) 1980年代	40	4.6	31	2.5
(7) 1990年代以降	16	1.8	7	0.6

1-3 株式(店頭)公開時期を教えてください。

	今回		前回	
	回答社数	860	回答社数	1210
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 1940年代以前	38	4.4	58	4.8
(2) 1940年代	112	13.0	162	13.4
(3) 1950年代	74	8.6	117	9.7
(4) 1960年代	155	18.0	270	22.3
(5) 1970年代	64	7.4	96	7.9
(6) 1980年代	118	13.7	174	14.4
(7) 1990年代以降	299	34.8	333	27.5

1-4 主要事業内容について教えてください。

		今回		前回	
		回答社数	873	回答社数	1218
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	水産・農林	4	0.5	4	0.3
(2)	鉱業	1	0.1	5	0.4
(3)	建設	76	8.7	108	8.9
(4)	食料品	50	5.7	64	5.3
(5)	繊維製品	28	3.2	34	2.8
(6)	パルプ・紙	8	0.9	12	1.0
(7)	化学	55	6.3	83	6.8
(8)	医薬品	20	2.3	25	2.1
(9)	石油・石炭製品	5	0.6	10	0.8
(10)	ゴム製品	1	0.1	11	0.9
(11)	ガラス・土石製品	16	1.8	30	2.5
(12)	鉄鋼	18	2.1	28	2.3
(13)	非鉄金属	10	1.1	25	2.1
(14)	金属製品	18	2.1	38	3.1
(15)	機械	57	6.5	77	6.3
(16)	電気機械	87	10.0	111	9.1
(17)	輸送用機器	40	4.6	54	4.4
(18)	精密機器	22	2.5	24	2.0
(19)	その他製品	44	5.0	55	4.5
(20)	電気・ガス	11	1.3	17	1.4
(21)	陸運	22	2.5	24	2.0
(22)	海運	2	0.2	7	0.6
(23)	空運	0	0.0	2	0.2
(24)	倉庫・運輸関連	18	2.1	19	1.6
(25)	通信	4	0.5	3	0.2
(26)	卸売	73	8.4	114	9.4
(27)	小売	73	8.4	112	9.2
(28)	不動産	20	2.3	21	1.7
(29)	サービス	90	10.3	78	6.4

1-5 資本金は幾らですか。

		今回		前回	
		回答社数	875	回答社数	1218
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	10億円未満	84	9.6	76	6.2
(2)	10～30億円未満	213	24.3	306	25.1
(3)	30～100億円未満	309	35.3	414	34.0
(4)	100～300億円未満	152	17.4	264	21.7
(5)	300億円以上	117	13.4	158	13.0

1-7 御社における外国人・海外機関投資家の占有率を教えてください。

		今回		前回	
		回答社数	859	回答社数	1208
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	5%未満	569	66.2	768	63.6
(2)	5～10%未満	109	12.7	202	16.7
(3)	10～15%未満	79	9.2	116	9.6
(4)	15～20%未満	45	5.2	43	3.6
(5)	20～25%未満	17	2.0	32	2.6
(6)	25～30%未満	18	2.1	19	1.6
(7)	30%以上	22	2.6	28	2.3

1-8 経営諸比率のうち、前期決算期における単独の自己資本比率()を教えてください

		今回		前回	
		回答社数	867	回答社数	1211
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	10%未満	30	3.5	64	5.3
(2)	10～20%未満	94	10.8	136	11.2
(3)	20～30%未満	126	14.5	170	14.0
(4)	30～40%未満	120	13.8	201	16.6
(5)	40～50%未満	148	17.1	188	15.5
(6)	50～60%未満	124	14.3	184	15.2
(7)	60～70%未満	98	11.3	112	9.2
(8)	70～80%未満	68	7.8	91	7.5
(9)	80～90%未満	52	6.0	57	4.7
(10)	90%以上	7	0.8	8	0.7

経営のスタンス

2-1 御社は、どのような意思決定の体系を採用していますか。

		今回		前回	
		回答社数	863	回答社数	1213
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	トップダウン式	112	13.0	202	16.7
(2)	どちらかといえばトップダウン式	368	42.6	521	43.0
(3)	どちらかといえばボトムアップ式	66	7.6	95	7.8
(4)	トップダウンとボトムアップの折衷案	310	35.9	382	31.5
(5)	ボトムアップ式	5	0.6	11	0.9
(6)	その他	2	0.2	2	0.2

2-2 御社は、現在、重要な利害関係者として下記のどの主体を考えていますか。2つまでお答え下さい。

		今回		前回	
		回答社数	854	回答社数	1210
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	一般顧客	427	50.0	458	37.9
(2)	従業員	243	28.5	330	27.3
(3)	個人投資家	159	18.6	132	10.9
(4)	国内機関投資家	121	14.2	166	13.7
(5)	海外機関投資家	18	2.1	46	3.8
(6)	取引先銀行	142	16.6	338	27.9
(7)	取引先企業	377	44.1	598	49.4
(8)	系列企業集団	73	8.5	148	12.2
(9)	その他	37	4.3	37	3.1
(10)	分からない	10	1.2	22	1.8

2-3 御社は、今後、どの利害関係者の利益を重視していく姿勢を強めますか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回		
	回答社数	858	回答社数	1205	
	社数	比率(%)	社数	比率(%)	
(1) 一般顧客	408	47.6	一般顧客	422	35.0
(2) 従業員	211	24.6	従業員	408	33.9
(3) 個人投資家	311	36.2	株主	834	69.2
(4) 国内機関投資家	179	20.9			
(5) 海外機関投資家	47	5.5			
(6) 取引先銀行	59	6.9	取引先銀行	79	6.6
(7) 取引先企業	259	30.2	取引先企業	295	24.5
(8) 系列企業集団	66	7.7	一般債権	20	1.7
(9) その他	42	4.9	その他	21	1.7
(10) 分からない	18	2.1	分からない	53	4.4

2-4 現状、最も重視する収益指標は何ですか。

	今回		前回		
	回答社数	863	回答社数	1213	
	社数	比率(%)	社数	比率(%)	
(1) 売上高・市場シェア等、規模の成長性を示す指標	106	12.3	売上高・ 経常利益 等、規模	910	75.0
(2) 経常利益等、収益力を示す指標	557	64.5			
(3) ROA等、総資産の効率性を示す指標	87	10.1	ROA・ ROE等、	318	26.2
(4) ROE等、株主資本の効率性を示す指標	113	13.1			
(5) EVA・MVA等、経済的付加価値を示す指標	25	2.9	EVA・ MVA等、 経済的付 加価値を 示す指標	13	1.1
(6) DCF等、キャッシュフローを重視した指標	68	7.9	キャッシュ フローを 重視した 指標	119	9.8
(7) その他	17	2.0	その他	19	1.6
(8) 分からない	3	0.3	分からない	6	0.5

株主との関係

3-1 御社は、下記のうち、株主としてどの主体を重視していますか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	865	回答社数	1205
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) オーナー	102	11.8	139	11.5
(2) 個人投資家	519	60.0	621	51.5
(3) 機関投資家	410	47.4	502	41.7
(4) メインバンク	184	21.3	446	37.0
(5) 取引先企業	174	20.1	300	24.9
(6) 系列企業集団	95	11.0	199	16.5
(7) その他	23	2.7	17	1.4
(8) 分からない	19	2.2	25	2.1

3-2 設問3-1で「(2)個人投資家」を選んだ企業にお聞きします:選択した理由は何ですか。

	今回		前回	
	回答社数	529	回答社数	604
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 個人投資家を、株主と同時に、企業の	240	45.4	288	47.7
(2) 個人に対する企業イメージの向上が、 結局、投信等の組込み銘柄に繋がり、 株価を左右するので	196	37.1	188	31.1
(3) 株主代表訴訟が容易に行えるように なったので	1	0.2	11	1.8
(4) 今後は、ディスクロズ資料等で財務情 報を詳細開示するようになり、個人投資 家のリターンに関する意識変革が生じる	90	17.0	98	16.2
(5) 株式手数料の完全自由化により、簡便 かつ廉価なネット取引による個人投資 家のシェアが上昇すると思うので	43	8.1	38	6.3
(6) マスコミ等、広報対策として無視できな いので	14	2.6	9	1.5
(7) その他	26	4.9	11	1.8
(8) わからない	0	0.0	0	0.0

3-3 今後、御社は、経営姿勢を株主に示す方策として、何を重視しますか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	863	回答社数	1210
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 株主総会における議案事項	223	25.8	237	19.6
(2) 株式持合の解消	37	4.3	33	2.7
(3) ストック・オプション制度の導入	23	2.7	63	5.2
(4) 経営パフォーマンス指標としてROE・	146	16.9	384	31.7
(5) IR活動の促進	693	80.3	838	69.3
(6) 開示基準を超えた自主的なディスクロー ジャー	190	22.0	271	22.4
(7) 社外取締役・執行役員制度の導入	68	7.9	81	6.7
(8) 内部監査役監査制度・内容の充実	80	9.3	105	8.7
(9) グローバル・スタンダードに適合した監 査を行う監査法人の導入	16	1.9	34	2.8
(10) その他	19	2.2	21	1.7
(11) 分からない	18	2.1	53	4.4

3-4 御社は事業法人との株式持合をしていますか。

	今回	
	回答社数	864
	社数	比率(%)
(1) はい	598	69.2
(2) いいえ	247	28.6
(3) わからない	18	2.1

前回(注)		
回答社数	1217	
社数	比率(%)	
	1076	88.4
	130	10.7
	11	0.9

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-5 設問3-4で「(1)はい」を選んだ企業にお聞きします：

事業法人との株式持合は御社にとって、どのようなメリットがありますか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回(注)	
	回答社数	比率(%)	回答社数	比率(%)
(1) 以前から存在するだけで、特にメリットを意識したことはない	115	19.1	196	18.4
(2) 戦略的・敵対的買収を未然に防げる	175	29.1	338	31.6
(3) 株主総会対策になる	127	21.1	325	30.4
(4) 長期で安定した取引関係を形成できる	432	71.8	767	71.8
(5) 長期的な経営計画の設定が可能となる	72	12.0	101	9.5
(6) 持合相手先による救済が期待できる	5	0.8	18	1.7
(7) 有価証券投資としても高い収益率が得られる	9	1.5	16	1.5
(8) 持合相手先が増資を優先的に引き受けてくれるので消化がしやすい	5	0.8	16	1.5
(9) 自社グループの再編に資する	9	1.5	9	0.8
(10) その他	20	3.3	7	0.7
(11) わからない	5	0.8	4	0.4

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-6 設問3-4で「(1)はい」を選んだ企業にお聞きします：株式持合の程度は、今後どうするつもりですか。

	今回		前回(注)	
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 強化する	5	0.8	7	0.7
(2) やや強化する	22	3.7	24	2.2
(3) 現行通り	310	51.9	358	33.5
(4) やや弱める	168	28.1	170	15.9
(5) 弱める	91	15.2	509	47.7

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-7 設問3-6で「(1)強化する」、「(2)やや強化する」または「(3)現行通り」を選んだ企業にお聞きします：その理由は何ですか。

	今回		前回(注)	
	回答社数	比率(%)	回答社数	比率(%)
(1) 今後、より強固な地盤固めや生き残りをかけたグローバルな戦略的提携手段として必要なので	129	42.0	180	34.03
(2) 今後、戦略的・敵対的買収が頻発する可能性がある	48	15.6	106	20.04
(3) 株価を高いレベルで維持しておきたい	33	10.7	46	8.70
(4) 自社グループの再編になるので	6	2.0	9	1.70
(5) 株主総会対策に有効なので	49	16.0	108	20.42
(6) その他	46	15.0	39	7.37
(7) わからない	24	7.8	41	7.75

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-9 御社は金融機関との株式持合をしていますか。

		今回	
		回答社数	比率(%)
		866	
		社数	比率(%)
(1)	はい	678	78.3
(2)	いいえ	174	20.1
(3)	わからない	14	1.6

前回(注)	
回答社数	比率(%)
1217	
社数	比率(%)
1076	88.4
130	10.7
11	0.9

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-10 設問3-9で「(1)はい」を選んだ企業にお聞きします: 株式持合は御社にとって、どのようなメリットがありますか。2つまでお答え下さい。

		今回	
		回答社数	比率(%)
		678	
		社数	比率(%)
(1)	以前から存在するだけで、特にメリットを意識したことはない	153	22.6
(2)	戦略的・敵対的買収を未然に防げる	164	24.2
(3)	株主総会対策になる	124	18.3
(4)	長期で安定した取引関係を形成できる	482	71.1
(5)	長期的な経営計画の設定が可能となる	108	15.9
(6)	持合相手先による救済が期待できる	17	2.5
(7)	有価証券投資としても高い収益率が得られる	2	0.3
(8)	持合相手先が増資を優先的に引き受けてくれるので消化がしやすい	7	1.0
(9)	自社グループの再編に資する	1	0.1
(10)	その他	8	1.2
(11)	わからない	6	0.9

前回(注)	
回答社数	比率(%)
1068	
社数	比率(%)
196	18.4
338	31.6
325	30.4
767	71.8
101	9.5
18	1.7
16	1.5
16	1.5
9	0.8
7	0.7
4	0.4

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-11 設問3-9で「(1)はい」を選んだ企業にお聞きします: 株式持合の程度は、今後どうするつもりですか。

		今回	
		回答社数	比率(%)
		674	
		社数	比率(%)
(1)	強化する	2	0.3
(2)	やや強化する	3	0.4
(3)	現行通り	327	48.5
(4)	やや弱める	222	32.9
(5)	弱める	120	17.8

前回(注)	
回答社数	比率(%)
1068	
社数	比率(%)
7	0.7
24	2.2
358	33.5
170	15.9
509	47.7

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-12 設問3-11で「(1)強化する」、「(2)やや強化する」または「(3)現行通り」を選んだ企業にお聞きします:その理由は何ですか。

	今回		前回(注)	
	回答社数	比率(%)	回答社数	比率(%)
(1) 今後、より強固な地盤固めや生き残りをかけたグローバルな戦略的提携手段として必要なので	112	36.0	180	34.03
(2) 今後、戦略的・敵対的買収が頻発化する可能性がある	46	14.8	106	20.04
(3) 株価を高いレベルで維持しておきたいので	37	11.9	46	8.70
(4) 自社グループの再編になる	2	0.6	9	1.70
(5) 株主総会対策に有効な	55	17.7	108	20.42
(6) その他	50	16.1	39	7.37
(7) わからない	32	10.3	41	7.75

(注) 前回調査は単に「株式持合い」について質問している。

3-14 御社はここ数年で、敵対的買収の対象となったことがありますか。

	今回		前回	
	回答社数	比率(%)	回答社数	比率(%)
(1) ある	12	1.4	45	3.7
(2) ない	813	93.9	1048	86.3
(3) 分からない	41	4.7	122	10.0

3-15 現在、敵対的買収に対する具体的な予防・対抗策を執っていますか。

	今回		前回	
	回答社数	比率(%)	回答社数	比率(%)
(1) 執っている	116	13.5	185	15.4
(2) 執っていない	645	75.3	827	68.7
(3) 分からない	96	11.2	191	15.9

3-16 設問3-15で「(1)執っている」を選んだ企業にお聞きます:どのような予防・対抗策を執っていますか。

		今回		前回	
		回答社数	126	回答社数	182
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	メインバンクとの関係を強化している	30	23.8	74	40.7
(2)	浮動株を減らすために、株式持合を強化している	17	13.5	56	30.8
(3)	浮動株を減らすために、自社株式を買い戻している	53	42.1	17	9.3
-4	ゴールデン・パラシュートやポイズン・ピルを株主総会の同意・特別決議事項に	0	0.0	0	0.0
(5)	支配株式に関する取引について、株主の2/3の賛成を必要とするよう定款を変更している	0	0.0	4	2.2
(6)	敵対的買収後、買い付け人に対し企業価値の旨みを少しでも阻害するため、現金性資産を少なめにしている	2	1.6	1	0.5
(7)	その他	37	29.4	46	25.3
(8)	わからない	2	1.6	0	0.0

3-18 御社では下記(1)～(9)のIRに関する施策を実施していますか。(今回)

		回答社数	実施している	実施を検討	検討していない	分からない
(1)	営業報告書、有価証券報告書等を資料冊子として、企業の主要な施設に常備し	863	605	77	172	9
		比率(%)	70.1	8.9	19.9	1.0
(2)	アニュアルレポートをホームページ上で投資家情報として提供している	866	407	181	263	15
		比率(%)	47.0	20.9	30.4	1.7
(3)	国内でアナリストと定期的にミーティングを行っている	871	460	133	253	25
		比率(%)	52.8	15.3	29.0	2.9
(4)	海外でアナリストと定期的にミーティングを行っている	871	100	109	633	29
		比率(%)	11.5	12.5	72.7	3.3
(5)	IR活動をコンサルティングしてもらう	871	228	129	476	38
		比率(%)	26.2	14.8	54.6	4.4
(6)	社内にIR担当部署を設け、アナリスト・投資家向け情報提供の専門部隊を配置	873	380	134	332	26
		比率(%)	43.5	15.3	38.0	3.0
(7)	株主総会とは別に、各地で「株主懇談会」を開催している	864	60	98	674	32
		比率(%)	6.9	11.3	78.0	3.7
(8)	インターネットのホームページ上で取締役会のメンバーの履歴を掲載している	867	54	69	718	26
		比率(%)	6.2	8.0	82.8	3.0
(9)	英語のディスクロージャー誌を作成している	867	245	92	507	23
		比率(%)	28.3	10.6	58.5	2.7

(参考) 前回: 現在、御社はどのような手段でIR活動を行なっていますか。当てはまるものをすべてお答え下さい。

		回答社数	1200
		社数	比率(%)
(1)	IR活動は行なっていない。	318	26.5
(2)	営業報告書、有価証券報告書等を資料冊子として、企業のすべての施設に常備している	334	27.8
(3)	アニュアルレポート等を、インターネットにて投資家情報として提供している	346	28.8
(4)	アナリストと定期的にミーティングを行う	579	48.3
(5)	IR活動をコンサルティングしてもらい、投資家等に情報提供している	158	13.2
(6)	社内にIR室を設け、アナリスト・投資家向け情報提供の専門部隊を配置している	178	14.8
(7)	その他	62	5.2
(8)	分からない		0.0

経営組織(取締役会、執行役員、監査役)

4-1 御社の取締役数(監査役は含まず)は現在何人ですか。

		回答社数	859
平均人数		10.8	
		社数	比率(%)
(1)	5人以下	96	11.2
(2)	6人～10人以下	408	47.5
(3)	11人～15人以下	242	28.2
(4)	16～20人以下	70	8.1
(5)	21～25人以下	33	3.8
(6)	26～30人以下	14	1.6
(7)	31人以上	8	0.9
		今回	前回
		回答社数	859
		回答社数	1193
		社数	比率(%)
		社数	比率(%)
	1～15人	746	86.8
	16～20人	70	8.1
	21～25人	33	3.8
	26～	22	2.6
		55	4.6

4-5 御社では社外取締役()を導入していますか。

		今回		前回	
		回答社数	863	回答社数	1138
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	既に導入している	309	35.8	343	30.1
(2)	今後、導入予定である	25	2.9	13	1.1
(3)	今後、導入を検討している	282	32.7	311	27.3
(4)	一切、導入は考えていない	247	28.6	471	41.4

4-6 社外取締役について、設問4-5で「(1)既に導入している」を選んだ企業にお聞きます：
4-6- 社外取締役の人数は何人ですか。

		回答社数		315	
各社平均人数		1.64			
		社数		比率(%)	
(1)	総取締役に占める社外取締役の割合： 10%未満	88		27.9	
(2)	:10～20%未満	113		35.9	
(3)	:20～30%未満	69		21.9	
(4)	:30～40%未満	18		5.7	
(5)	:40～50%未満	10		3.2	
(6)	:50%以上	4		1.3	
		今回		前回	
		回答社数		回答社数	
		315		331	
(1)	社外取締役の人数：	266		84.4	
(2)	:4～6人	44		14.0	
(3)	:7～9人	5		1.6	
(4)	:10人以上	0		0.0	
				289	
				87.3	
				33	
				10.0	
				9	
				2.7	
				0	
				0.0	

4-6- 社外取締役制度を導入する上で、何を主に期待しましたか。2つまでお答え下さい。

		今回		前回	
		回答社数		回答社数	
		317		625	
		社数		社数	
		比率(%)		比率(%)	
(1)	社外の斬新な意見等を取り入れること ができ、取締役会が活性化する	268		84.5	
(2)	取締役数を削減することができる	3		0.9	
(3)	内部出身者でない分、定年制や任期を 取り入れやすい	2		0.6	
(4)	経営に対する外部からのコンセンサス	133		42.0	
(5)	透明度の高い経営であることをアピール できる	99		31.2	
(6)	その他	13		4.1	
(7)	わからない	9		2.8	
				526	
				84.2	
				14	
				2.2	
				7	
				1.1	
				244	
				39.0	
				185	
				29.6	
				10	
				1.6	
				14	
				2.2	

4-7 執行役員制度(1)について、お答え下さい。

		今回		前回	
		回答社数		回答社数	
		846		1145	
		社数		社数	
		比率(%)		比率(%)	
(1)	既に導入している	279		33.0	
(2)	今後、導入予定である	23		2.7	
(3)	今後、導入を検討している	218		25.8	
(4)	一切、導入を考えていない	326		38.5	
				147	
				12.8	
				26	
				2.3	
				428	
				37.4	
				544	
				47.5	

4-12 御社における現在の監査役(監査役会)による監査は、経営(者)に対するチェック機能を果たしていると思いますか。

	今回		前回		
	回答社数	861	回答社数	1203	
	社数	比率(%)	社数	比率(%)	
(1) 果たしている	341	39.6	果たしている 現状でよい	107 98	8.9 8.1
(2) どちらかといえば果たしている	332	38.6	どちらか といえば 果たして	339	28.2
(3) あまり果たしていない	135	15.7	改善の余 地あり	579	48.1
(4) 果たしていない	15	1.7			
(5) 分からない	37	4.3	分からな	80	6.7

商法改正について

5-6 スtock・オプション制度についてお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	864	回答社数	1209
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 既に導入している	243	28.1	115	9.5
(2) 今後、導入予定である	16	1.9	28	2.3
(3) 導入を検討している	131	15.2	309	25.6
(4) 導入を考えていない	369	42.7	528	43.7
(5) 分からない	105	12.2	229	18.9

5-8 設問5-6で「(1)既に導入している」、「(2)今後導入予定である」または「(3)導入を検討している」を選んだ企業にお聞きします:主たる導入理由は、何ですか。3つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	374	回答社数	437
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 労働インセンティブを向上させられるの	326	87.2	365	83.5
(2) 時流に乗った積極的な経営姿勢を提示 できるので	73	19.5	85	19.5
(3) 優秀な人材を確保できるので	84	22.5	126	28.8
(4) 成功報酬の支払を市場に転嫁でき、コ ストが低いので	65	17.4	80	18.3
(5) 企業の将来に対しての更なる成長性を 市場に誇示できるので	52	13.9	79	18.1
(6) その他	20	5.3	11	2.5
(7) わからない	6	1.6	0	0.0

従業員及び雇用

6-1 従業員について教えてください。総従業員数に占める非正規従業員(1)の割合はどの位ですか。

		今回		前回	
		回答社数	863	回答社数	1206
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	10%未満	455	52.7	739	61.3
(2)	10～20%未満	142	16.5	176	14.6
(3)	20～30%未満	89	10.3	73	6.1
(4)	30～40%未満	36	4.2	42	3.5
(5)	40～50%未満	15	1.7	24	2.0
(6)	50～60%未満	25	2.9	25	2.1
(7)	60～70%未満	28	3.2	40	3.3
(8)	70%以上	73	8.5	87	7.2

6-2 総正規従業員の平均年齢は何歳位ですか。

		今回		前回	
		回答社数	864	回答社数	1191
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	30歳未満	27	3.1	42	3.5
(2)	30～34歳	141	16.3	225	18.9
(3)	35～39歳	422	48.8	552	46.3
(4)	40～44歳	256	29.6	353	29.6
(5)	45歳以上	18	2.1	19	1.6

6-6 現在の雇用・人事方針は、終身雇用を前提とした年功序列型賃金体系ですか。

		今回		前回	
		回答社数	870	回答社数	1211
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	そうである	94	10.8	241	19.9
(2)	どちらかというそうである	373	42.9	585	48.3
(3)	どちらかといえばそうではない	237	27.2	262	21.6
(4)	そうではない	161	18.5	117	9.7
(5)	わからない	5	0.6	6	0.5

6-7 設問6-6で「(3)どちらかといえばそうではない」、「(4)そうではない」を選んだ企業にお聞きします:具体的にどのような雇用・人事方針を採っていますか。最も近いものをお答え下さい。

		今回		前回	
		回答社数	411	回答社数	363
		社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1)	終身雇用制度をなくし、能力に連動した賃金体系を全面的に適用している	46	11.2	22	6.1
(2)	終身雇用制度の範囲を限定し、能力に連動した賃金体系を全面的に適用して	37	9.0	33	9.1
(3)	終身雇用制度の範囲を限定し、能力に連動した賃金体系を部分的に適用して	62	15.1	61	16.8
(4)	終身雇用制度は維持しているが、能力に連動した賃金体系を全面的に適用し	129	31.4	75	20.7
(5)	終身雇用制度は維持しているが、能力に連動した賃金体系を部分的に適用し	124	30.2	168	46.3
(6)	その他	13	3.2	4	1.1

6-8 新たな雇用方針として、御社が具体化しているもの・検討しているものがありますか。すべてお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	838	回答社数	1166
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 通年採用の導入	318	37.9	307	26.3
(2) 社内における早期選抜制度の導入	180	21.5	32	2.7
(3) 抜擢人事の導入	317	37.8	312	26.8
(4) 専門職制や複線型人事制度(スペシャリスト型ゼネラリストの育成)の実施	380	45.3	499	42.8
(5) 早期退職制度の導入	343	40.9	473	40.6
(6) 雇用の流動化(一時帰休・レイオフ等)	34	4.1	49	4.2
(7) 年俸制の導入	359	42.8	502	43.1
(8) EVAに連動した給与体系の導入	26	3.1	63	5.4
(9) 中途採用の実施	610	72.8	638	54.7
(10) 人材派遣の受入	570	68.0	544	46.7
(11) 退職金・企業年金制度の変更	452	53.9	490	42.0
(12) その他	16	1.9	24	2.1

ファイナンス

7-1 下記のうち、いずれの資金調達手段を活用していますか。主たる調達手段を5つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答数	857	回答数	1211
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) メインバンクからの調達	745	86.9	1063	87.8
(2) メインバンク以外の銀行からの調達	539	62.9	863	71.3
(3) 国内市場での普通社債発行	231	27.0	395	32.6
(4) 海外市場での普通社債発行	40	4.7	91	7.5
(5) 国内市場での仕組債の発行	38	4.4	252	20.8
(6) 海外市場での仕組債の発行	27	3.2	203	16.8
(7) 国内市場での株式発行	229	26.7	288	23.8
(8) 海外市場での株式発行	9	1.1	10	0.8
(9) 国内市場でのCP発行	104	12.1	165	13.6
(10) 海外市場でのCP発行	3	0.4	11	0.9
(11) リース債権・クレジット等の証券化	34	4.0	78	6.4
(12) 銀行以外の金融機関からの調達	199	23.2	354	29.2
(13) その他	93	10.9	70	5.8

7-2 今後、メインバンクからの資金調達は、どのようにされますか。

	今回		前回	
	回答社数	848	回答社数	1205
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 強化する	36	4.2	59	4.9
(2) やや強化する	33	3.9	94	7.8
(3) 現行通り	622	73.3	771	64.0
(4) やや弱める	67	7.9	151	12.5
(5) 弱める	35	4.1	47	3.9
(6) その他	55	6.5	83	6.9

7-3 設問7-2で「(1)強化する」、「(2)やや強化する」または「(3)現行通り」を選んだ企業にお聞きします：理由は何ですか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	631	回答社数	841
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 不測の資金需要に応じてくれるので	434	68.8	595	70.7
(2) 日々の営業斡旋に係る付带的サービス・取引や情報等を提供してくれるので	269	42.6	422	50.2
(3) 戦略的・敵対的買収から守ってくれるので	16	2.5	24	2.9
(4) 経営危機の際に、救済してくれると思うので	73	11.6	158	18.8
(5) 資金調達コストが安いので	175	27.7	173	20.6
(6) 財務部門等に人材派遣をしてくれるので	19	3.0	15	1.8
(7) その他	40	6.3	41	4.9
(8) わからない	15	2.4	5	0.6

7-4 設問7-2で「(4)やや弱める」、「(5)弱める」を選んだ企業にお聞きします：理由は何ですか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	105	回答社数	184
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 株式・債券市場での調達が容易になるので	27	25.7	88	47.8
(2) メインバンクの経営不安が自社株価に影響するので	7	6.7	4	2.2
(3) 経営に介入されたくないから	8	7.6	8	4.3
(4) メインバンクを中心としたグループ・系列にとらわれない企業活動を望んでいる	22	21.0	47	25.5
(5) 負債比率をこれ以上高めてしまうと、格付を下げてしまう可能性があるから	13	12.4	32	17.4
(6) 事業資金をできるだけ内部留保で賄う体質を目指しているから	68	64.8	102	55.4
(7) その他	9	8.6	15	8.2
(8) わからない	2	1.9	0	0.0

7-5 今後、(メインバンク以外で)資金調達は主に下記のいずれに配分を増やしますか。特に増加させると考えられるものを4つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	743	回答社数	1205
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) メインバンク以外の銀行からの調達	296	39.8	542	45.0
(2) 国内市場での普通社債発行	168	22.6	584	48.5
(3) 海外市場での普通社債発行	29	3.9	128	10.6
(4) 国内市場での仕組債の発行	42	5.7	277	23.0
(5) 海外市場での仕組債の発行	22	3.0	150	12.4
(6) 国内市場での株式発行	134	18.0	286	23.7
(7) 海外市場での株式発行	16	2.2	33	2.7
(8) 国内市場でのCP発行	78	10.5	299	24.8
(9) 海外市場でのCP発行	4	0.5	25	2.1
(10) リース債権・クレジット等の証券化	48	6.5	223	18.5
(11) 銀行以外の金融機関からの調達	137	18.4	266	22.1
(12) 配分は変えない	216	29.1		
(13) その他	66	8.9	107	8.9

7-8 我が国の株式市場は、資金調達活動を円滑に行うにあたり、有効に活用できる状況にあると思いますか。

	今回		前回	
	回答社数	856	回答社数	1213
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 十分活用できる状況にある	28	3.3	75	6.2
(2) どちらかと言うと活用できる状況にある	273	31.9	603	49.7
(3) どちらかと言うと活用できない状況にあ	290	33.9	374	30.8
(4) 活用できない状況にある	139	16.2	34	2.8
(5) 分からない	126	14.7	127	10.5

7-9 設問7-8で「(3)どちらかという活用できない状況である」、「(4)活用できない状況である」を選んだ企業にお聞きします:何が活用するのを阻害していますか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	428	回答社数	397
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 上場審査基準項目・不受理項目等、市場の参入障壁が高いこと	59	13.8	131	33.0
(2) IR室の設置等、投資家やアナリスト向けに行う情報提供に係るコストが高いこと	57	13.3	46	11.6
(3) 資金調達を随時行う際に、市場における吸収能力が不十分であること	303	70.8	239	60.2
(4) 上場の際、証券会社に支払う手数料等の発行コストが高いこと	60	14.0	73	18.4
(5) 増資にあたり、株主構成のバランスまで考量しないといけないこと	84	19.6	121	30.5
(6) その他	41	9.6	19	4.8
(7) わからない	14	3.3	4	1.0

7-10 我が国の債券市場は、資金調達活動を円滑に行うにあたり、有効に活用できる状況にあると思いますか。

	今回		前回	
	回答社数	839	回答社数	1211
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 十分活用できる状況にある	35	4.2	98	8.1
(2) どちらかと言うと活用できる状況にある	298	35.5	582	48.1
(3) どちらかと言うと活用できない状況にあ	221	26.3	331	27.3
(4) 活用できない状況にある	61	7.3	30	2.5
(5) 分からない	224	26.7	170	14.0

7-11 設問7-10で「(3)どちらかという活用できない状況である」、「(4)活用できない状況である」を選んだ企業にお聞きします:何が活用するのを阻害していますか。2つまでお答え下さい。

	今回		前回	
	回答社数	298	回答社数	350
	社数	比率(%)	社数	比率(%)
(1) 低格付債を扱う証券会社が存在しない等、知名度のない企業が発行しにくい状況にあること	151	50.7	225	64.3
(2) 債券市場にシフトすると、メインバンクに悪い印象を与えるので	15	5.0	14	4.0
(3) 債券を発行する際の格付取得によって逆に評価が下がり、資金調達が困難になる可能性があるため	71	23.8	109	31.1
(4) 証券取引に関する、決済システムが未整備なこと	14	4.7	11	3.1
(5) 高格付でないとき起債手数料が割高なこと	94	31.5	120	34.3
(6) 売買が活発ではないので、市場における吸収能力が不十分であること	109	36.6	120	34.3
(7) その他	7	2.3	5	1.4
(8) わからない	13	4.4	1	0.3